

酒田市美術館⇄土門拳記念館 ミュージアム・シェアサイクル新設のお知らせ

酒田を代表する文化ゾーン、飯森山。1キロほど離れた酒田市美術館と土門拳記念館のあいだには、サイクリングにうってつけの道があります。昨年6月に2つの美術館が財団統合し「さかた文化財団」が発足したことをきっかけに、市内で観光用自転車として使われてきた3台がリメイクされ、このたび2館間専用の「ミュージアム・シェアサイクル」として生まれ変わりました。リメイクを手がけたのは市内在住の若手画家・福濱美志保さん。このシェアサイクルの愛称を市民のみなさまへの公募によって決定いたします。ぜひ飯森山へお越しの上、個性豊かな3台の自転車の名前を考えてみてください！



〔上〕酒田市美術館のランドマーク、安田侃さんの彫刻《翔生》の前で。

〔中〕土門拳記念館のシンボルカラーであるパープルを基調にした1台。細かいカラフルな模様は、カモメや海の微生物、植物の種子など、酒田の豊かな自然を表現しています。

〔下・左〕酒田市美術館のシンボルカラーであるグリーンに、街を吹き抜ける風をイメージした直線の模様をあしらった1台。

〔下・右〕酒田市の海をイメージしたブルーに、芸術や文化がほとばしる様子をペイントで表現した1台。

3台の自転車には共通して、酒田市美術館と土門拳記念館、そして酒田市を示す3つのシンボルマークが描かれています。どれが何を示すマークか、ぜひ探してみてください！



福濱美志保 ふくはま・みしほ

1992年東京出身の画家。武蔵野美術大学油絵専攻卒業。白布やミニチュアの椅子などを風景に見立てた「Grandscape」シリーズの油絵を中心に制作。近年の主な入賞歴にFACE展2021（SOMPO美術館）、第6回星乃珈琲店絵画コンテスト優秀賞（福田美蘭推薦）など。

2021年3月より酒田市在住。同年10月、山形県内では初となる個展を酒田市二番町のギャラリー「2号室」で開催。2022年には荘銀タクト鶴岡で開催された「市民アーティストガチャ」「TACTおとアート」に参加した。



駐輪スペースの新設について

ミュージアム・シェアサイクルの運用開始に伴い、酒田市美術館および土門拳記念館に駐輪スペースを新設いたしました。シェアサイクル利用時はもちろん、自転車でご来館の際にもお気軽にご利用ください。

なお、シェアサイクルの貸出および駐輪スペースの設置は4月～11月のみとなり、冬季（12月～3月）はお休みとなる予定です。利用可能時間は両館が開館している9～17時のみとなります。

（写真は酒田市美術館の駐輪スペース）



本プレスリリースに関するお問い合わせはこちらまで

酒田市美術館

住所：998-0055 山形県酒田市飯森山3-17-95

電話：0234-31-0095

土門拳記念館

住所：998-0055 山形県酒田市飯森山2-13

電話：0234-31-0028

